

【～新たなる広島市の創造の為に～】

氏名 大原 邦夫 

3

I 基本理念『広島市政の現状認識・目指すべき広島市の姿』

(現状認識)
現在の広島市政は、立派な計画を立てながら、「金がない」の一言で実施を棚上げしたまま停滞、街は輝きを失い、市民の心には閉塞感が広がっています。これまでの市政が招いた元が原因です。市政の役割は、市民が日々安心して暮らせるようにすること。そういう意味でも、「広島を変える」ことが必要だと考えます。
(目指す姿)
コンパクトシティ、環境先進都市（環境首都）を目指します。同時に、市民が、まちづくり、文化、福祉、経済などさまざまな分野に参加して、イキイキと活動ができるまち、内外の人々との連携を深めながら、人間のまち、温かいまち、活力のあるまち、やさしいまちを目指します。

II 短期で行う重要施策（1年以内） ※優先順に3つ

①現在の市の業務を、市民が参加する「評価委員会」で、行政が行うべきとそうでないものを選別し、整理し直します。「根こそぎ改革」の第一歩です。
②その上で、業務を円滑に進めるために「職員定数削減・市民自治拡充計画」を策定するとともに、各小学校区でのまちづくり委員会の結成支援と、「行政パートナー」「教育パートナー」制度を提案します。
③子供の虐待死やいじめをなくして、安心して子どもが育てられるように、児童相談所や学校関係の職員を増やして温かくて実効のある育児・教育体制をつくります。

III 中期で行う重要施策（4年以内） ※優先順に3つ

①子供の安全を確保し、建物寿命を延ばすために、補強が必要な学校施設の耐震補修工事を、短期間で実行します。
②教職員の人間力、指導力をたかめるために、「広島新確塾」（仮称）を新設し、広島市の教育レベルの向上を図ります。広島100年の大計の根幹をなすものです。
③多くの市民が参加できる「新・平和100人委員会」を設置するとともに、音楽や演劇などさまざまなイベントを通して、全世界に人類平和をアピールする「ヒロシマ・ピース・ウィーク」を展開します。

IV 長期で行う重要施策 ※優先順に3つ

①10年の長期スパンで、無理なく「市職員9000人体制」を実現し、コンパクトで俊敏な行政組織を作り上げていきます。
②現在の交通体系を早急に見直し、市民が自由に行き来できる、より便利な公共交通体系を整備していきます。地球環境の改善にも寄与するものと考えます。
③廣大跡地、市民球場跡地などの再開発は、市民の意見も広く聴取しながら、市主導で進めていきます。平和都市、国際観光都市、環境都市としての、総合的な視点で検討することが必要だと考えています。

広島市長選挙 立候補予定者プロフィール

お名前 大原 邦夫 (おおはら くにお)

大原邦夫、戦後生まれの57才です。

修道、京大を経て1973年にNHKに入り、報道記者として各地で取材をしながら、地方自治の大切さを学びました。

1995年故郷広島で市議会議員に選出され、以来12年にわたって、無党派で市政改革に取り組んできましたが、市民の間に広がる閉塞感をこのままにしておくことはできないと思うようになりました。このため議員を辞め、今、「広島を変える」新たな戦いに挑んでいます。